



豆本は芥子本（けしぼん）・寸珍本（すんちんぼん）・巾箱本（きんそうぼん）・袖珍本（しゅうちんぼん）・雑本（ひいなぼん）などと呼ばれ、江戸時代から人々に愛されてきました。

# ご案内

函館市文学館

企画コーナー

## 「『掌（たなごころ）の文学 豆本之美』展」

豆本は‘てのひら、の中に収まるような小さな本です。一冊一冊が手作りで、趣向を凝らした宝石箱のような美しさから、文学を愛する心の温もりが伝わってきます。

函館市文学館で初めて開催する豆本の企画コーナーです。この企画に当たって、北海道立文学館から「特別展『蘭繁之の手仕事』」の展示品と櫻井健治氏の所蔵本を多数提供いただきました。豆本の魅力を、より多くの方々に味わっていただければと願っております。

期 間 平成22年9月17日(金)  
～ 平成22年10月13日(水)  
会 場 函館市文学館  
協 力 北海道立文学館・櫻井健治氏

特別講演会

## 「豆本への誘い」

『掌の文学 豆本之美』は、豆本に魅了され、蒐集し、自らも上梓した私の願いが叶った企画展であります。東北を代表する豆本作りの奇才蘭繁之氏の見事な作品の数々の展示が実現可能となったことから、私も四十年近く集めてきた「お宝豆本」を提供させていただいた。豆本といって馬鹿にはいけない。凝った作りと個性、手にしたときの和みと立派な品格を十分堪能していただければ幸いです。（櫻井氏のメッセージ）



講 師 櫻 井 健 治（さくらいけんじ）氏（日本近代文学会会員）  
日 時 平成22年9月25日(土) 午後2時00分より  
会 場 函館市文学館  
参加料 無 料  
申込み TEL 0138-22-9014（函館市文学館）